

令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 高校教育指導課
 担当名: 産業教育・キャリア教育担当
 内線: 6759 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P16	収益力のある農業を学ぶ担い手育成プログラム推進事業			一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	進路指導推進費	
事業期間	令和 6年度～ 令和 8年度	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律		針路	05	未来を創る子供たちの育成	SDGsゴール 4	
					分野施策	0501	確かな学力と自立する力の育成	SDGsターゲット 4-1, 4-3, 4-4	
1 事業概要 農業高校において収益力のある農業を学ぶカリキュラムを開発・実践し、農業高校生が農業を将来現実に就く仕事としてより意識して進路決定を行えるようになることで、農業関連産業への人材輩出につなげていく。 収益力のある農業を学ぶプログラム 見込みが下回ったこと等による減額 △16,337千円			5 事業説明 (1) 事業内容 収益力のある農業を学ぶプログラム 108,221千円 → 91,884千円 データ等を活用した栽培管理や食品製造などのスマート農業、農業経営を学ぶカリキュラムを開発・実践する。 (2) 事業計画 ア 気象や衛生管理データ等を活用した栽培管理や食品製造などのスマート農業、農業経営を学ぶカリキュラムを開発する。 イ 収益力のある農業を学ぶカリキュラムの開発・実践に向けた企業等とのコーディネートを実施する。 ウ 農業経営、情報技術、データサイエンス等に関する教員研修を実施する。 エ カリキュラムの実践に向けた、空調、管理装置、備品等の環境整備を行う。 (3) 事業効果 農業高校生が農業を将来現実に就く仕事としてより意識して進路決定を行えるようになり、農業関連産業に人材が輩出される。 【活動指標(アウトプット)】スマート農業や農業経営を学ぶカリキュラムの開発・実践 2校 【成果指標(アウトカム)】農業関連分野への就職・進学及び就農や就農目的の進学の割合 45% (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 カリキュラムの開発に当たって、産業界と連携の上、外部人材の適切な活用を図る。 (5) 補正予算の概要 見込みが下回ったこと等による減額						
2 事業主体及び負担区分 【農林水産省】 農業機械等導入事業補助金 (一部国1/2・県1/2)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1人=9,500千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		寄附金	諸収入	県債					
決定額	△16,337		△3,997	△8,000			△4,340	91,884	
現計額	108,221	100	22,706	55,000			30,415		

事業内訳書

事業名	収益力のある農業を学ぶ担い手育成プログラム推進事業		
単位事業名	収益力のある農業を学ぶ担い手育成プログラム推進事業	予算額	△ 16,337千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
諸収入・雑入	△3,997	—	農業教育環境整備事業助成金
県債・教育債	△8,000	—	県立高等学校建設事業債
一般財源	△4,340	—	
合計	△16,337	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△63	—	節約による旅費の減
工事請負費	△8,280	—	見込みが下回ったことによる工事請負費の減
備品購入費	△7,994	—	見込みが下回ったことによる備品購入費の減
合計	△16,337	—	